

## 式辞

暖かい春を迎え、色とりどりの花が咲き誇る今日の良き日に、京都市立榎原中学校第47回入学式を挙げていきますことを心よりお礼申し上げます。

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。今日から皆さんは中学生として新しいスタートを切るようになります。

小学校とは違い、中学校生活は3年間と短く、この3年間をもって義務教育を終えるのです。義務教育を終えると自分自身が選択した道を歩み、社会に飛び立っていかねばなりません。つまり、中学校3年間は社会へ巣立つための準備期間なのです。いろいろなことに挑戦し、夢や希望を持ち、未来を切り拓く力の獲得に努めてください。

榎原中学校では、教職員はもちろん、生徒会、地域、保護者PTAが力を合わせ、一人ひとりが大切にされる学習の場を作り上げるため、日々それぞれの立場で汗を流しています。

皆さんも今日から榎原中学校の生徒です。この場であらためて中学生としての自覚を持ち、これからの3年間を頑張り抜く決意を固めてください。

そこで、皆さんに榎原中学校の生徒として頑張ってもらいたいことを2つ、お話ししたいと思います。

一つ目は、「自ら進んで学ぼう」ということです。中学校生活において、課題に向き合い、学び、自分の学力を伸ばし、基本的なものの見方や考え方を身に付けたりすることは、何もよりも大切なことです。そのためには、学校での学習だけでなく、自ら進んで、家庭学習を習慣化するとともに、京都という地域で芸術・文化にふれる体験を積極的に持ち、広い視野や豊かな感性を培ってください。

二つ目は、「多くの人と関わろう」ということです。今求められている“コミュニケーション力”とは、色々な個性を持った人たちと関わり、お互いの気持ちを分かり合うことです。

こどばの持つ力を学び、相手に自分の考えを伝えること、また、相手の考えを冷静に聴くことは、「多様な他者と共に生きていく」時代だからこそより強く求められているのです。

「多くの人と関わること」そして「分かり合える」力をしっかり身に付けてください。

また、「誰も一人になるな」「誰も一人にするな」・・・誰もが未来のこの社会を担う個性を持った大切な「にんげん」であることを3年間忘れないでください。一緒に頑張りましょう。

ご来賓の皆様には、ご多忙中、ご参列いただきまして、誠にありがとうございます。高いところからではございますが、厚くお礼申し上げます。

学校、家庭、地域が一体となって、子どもたちの成長を見守り、育てていただくことが何よりも大切です。

ご来賓の皆様方には引き続きあたたかなご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに保護者の皆様へ一言お祝い申し上げます。本日はお子様のご入学誠にありがとうございます。

教職員一同、子どもたちと共に夢や希望を語り、生徒一人ひとりの将来を展望し、保護者の皆様のお子様に対する思いを真摯に受け止め、誠心誠意努力して参ります。どうかご協力の程、よろしく願い申し上げます。

それでは、新入生の皆さん一人ひとりが充実した中学校生活を送ることを期待して、式辞と致します。

令和3年4月7日  
京都市立榎原中学校  
校長 土岐文行